

# 2018年度 法科大学院

## 第3期入学試験問題

2時限

民法

(論文式)

試験時間 60分

### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [民法]

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

X（当時15歳）は、自己の所有する時計（以下、「本件時計」という。）をYに1万円で売却した。しかし、Xの両親Aらは、この売買契約について同意を与えていなかった。

なお、Xは、右売買契約に際して、Yから未成年者であるか否かを問われなかったため、未成年者であることをYに告げなかった。

### 設問

- （1）所有権に基づく返還請求権の要件を挙げなさい。
  
- （2）Xが未成年者の法律行為として本件時計の売買契約を取消して本件時計の返還を求めることができるかを検討しなさい。

（解答は全て解答用紙に記入すること）